

まちづくりミーティング開催 ～3地区で活発に意見交換～

市長が各地域に出向き、行政の動きを報告し、市民の皆さんから地域の課題やまちづくりへのご意見をうかがう、まちづくりミーティングが、5月17日から3地区で開催されました。

まちづくりミーティングには、3地区合わせて50人の参加をいただき、市からは、市長、副市長、教育長をはじめ、各部の部長が出席しました。

初めに、市政報告、平成22年度予算と主要事業の説明をしたあと、身近な問題から仙北市の将来に向けた提言など、活発な意見交換が行われました。



まちづくりミーティングは、今後も各地区で順次開催していく予定ですので、皆さんのご参加をお願いします。市政報告と各地区の意見交換から主なものを紹介します。

【市政報告から】 国民健康保険について

- ① 年度末に返還した旧角館町国民健康保険会計普通調整交付金に関し、真相解明のため石山副市長を委員長とする調査委員会を立ち上げました。同委員会には、この4月から仙北市の顧問弁護士を依頼した秋田市の伊勢法律事務所、伊勢昌弘弁護士も参画をいただいています。この委員会調査を中心に、引き続き全力で究明にあたる覚悟です。
- ② 国民健康保険の一部負担金の減免申請を承認しなかったことを違法とし、秋田地方裁判所から処分取り消しを命ぜられた件について、5月10日に伊勢顧問弁護士と協議をした結果、仙北市の主張が認められなかったことと、他市町村にも影響を与えることから、上級裁判所の判断を仰ぎたいという考えで、5月12日控訴したところです。
- ③ 国民健康保険会計の健全性を維持するための税率改正についてです。健全な会計・財源の確保が何としても必要ですが、同会計は近年の医療費の増加や、昨年の後半から流行した新型インフルエンザの影響等で収支がひっ迫している状況となってきています。当初予算は、基金を取り崩してやっと編成できたと言うのが実情です。歳出の抑制になお一層努力するとともに、歳入動向を慎重に見極めますが、国民健康保険会計の安定化を図る必要がありますので、出来るだけ早い段階で、国民健康保険税の税率改正に係るご議論をお願いしたいと考えています。

【意見交換から】

(Q) 自殺予防について、助けてくださいと言える環境の整備に、行政の力添えが必要ではないか。

(A) 今年度、高齢者生活実態調査を実施し、自殺要因の経済問題や生きがいなどについて調査します。高齢者のどこに一番心労があるのかを探り当てるのが第一段階、実態が見えてきたときにどう対応できるかが第2段階、今回は詳細に分析し対応方法を検討します。

(Q) 全国の魅力ある都市では、人口増のためのアクションを起こしているが、仙北市ではどうか。

(A) 大学の合宿を誘致して、これをきっかけにして分校を作っていくということで、5年間で1校の誘致を目指しています。また、高速通信が発達している現在、IT関連の企業、研究所は地方にあっても差がないので、市の遊休施設に研究所を誘致したいと考えています。

(Q) 上松木内地区のバス路線が4月から廃止されたが、代替交通の確保について、その後どのように進展しているか。

(A) 過疎地有償運送を行っているNPO団体については、内陸線の最寄りの駅まではこれまでも移送サービスを行っていましたが、会員登録やスタッフの確保等ですべての需要に応えることができない状況でした。このNPOと松葉以北の代替をやらしてもらえないか現在交渉しているところで、内陸線やタクシー事業者との調整が進めば、8月上旬には代替交通を確保できるよう取り組んでいるところです。

親子ふれあいワークショップ

5月15日、平福記念美術館で開催中の「伊藤^{ほうじ}髟耳展」の日本画家 伊藤髟耳氏が講師となって『親子ふれあいワークショップ』が同館ふれあいサロンを会場に行われました。

ワークショップとは体験型講習のことで、今回のテーマ“日本画の材料にふれてみる”に13組28人が参加しました。

水彩画や油絵と違い、日本画の材料を使うのは初めてという方がほとんどでしたが、伊藤氏のやさしく丁寧な説明と協力者の方々のサポートにより次第にコツをつかんで絵に取り組みました。使う色を1人2色に限定し、1回から数回塗り重ねることで濃淡を表現したユニークな作品が生まれました。

ワークショップ参加者の作品は伊藤髟耳展最終日の6月6日まで同館カルチャールームに展示されています。



おめでとうございます 白寿のお祝い

5月24日に竹内ヨシエさんが99歳の白寿を迎えられ、市からお祝いと花束が贈呈されました。



民生児童委員クリーンアップ

5月12日、仙北市民生児童委員協議会（会長 浦山久二）の方々80名が、「民生児童委員の日」活動強化週間の一環として、市内北野線（桜並木駐車場通り）歩道植え込みの除草及び、国道105号線沿いのクリーンアップを行いました。



秋田県民体育大会カヌー競技兼 ノースジャパンカップ大会

5月23日、秋田県民体育大会カヌー競技会が「ノースジャパンカップ大会」も兼ねて生保内カヌー競技場で行われました。好天のもと、2種目、6競技で熱戦が繰り広げられ、地元で活動しているカヌーチーム「E L K JAPAN」に所属する選手たちが活躍しました。

また、この大会にも参加した佐々木翼選手が、5月15日～16日、福島県で行われた2010ジャパンカップにおいて、「ワイルドウォーター第2戦」で見事優勝。佐々木選手はジャパンカップをはじめ海外大会にも参加し、好成績を上げています。佐々木選手や「E L K JAPAN」の皆さんの、今シーズンの活躍が期待されます。



ゴールを目指し、果敢なパドリング



佐々木翼選手